

令和二年度 国際学級帰国生入学試験問題

令和元年十二月八日 実施

国 語 (三十分)

「注 意」

- 一、試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
- 二、問題冊子は九ページあります。試験開始後すぐに確かめてください。
- 三、解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 四、問題冊子の表紙および解答用紙に受験番号（算用数字）と氏名をはっきり書いてください。
- 五、字数制限のある場合、句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。
- 六、試験終了後、解答用紙だけでなく問題冊子も回収します。
- 七、試験中、机の上から物を落としたり、気分が悪くなったり、何か用ができな時は、手をあげて監督かんとくの先生に知らせてください。

受験番号

氏名

東京女学館中学校

二、次の――線部分のカタカナを正しい漢字に直しなさい。

1 気持ちよくメザめる。

2 シキユウ、返事をください。

3 ヨウリヨウよくまとめる。

4 シンミツな態度で接する。

5 当時の様子をフクゲンする。

6 勝利をシユクフクする。

7 人工エイセイを打ち上げる。

8 バスのテイリユウジヨ。

9 少数意見をハンエイさせる。

10 熱心に人の道をトク。

二次の文章は、二〇〇五年に書かれたものです。この文章を読んで、後の問いに答えなさい。

環境保護団体かんきようほじの学習会や会合などに行くと、コップでなく一人ひとりにペットボトル入りのお茶が配られたり、食事時にはコンビニ弁当が配られたりして、はじめて参加した人は、「ウッソー！」とびっくりすることがあります。環境派を名のるなら、お茶を沸かし、コップに入れて配るべきであるし、弁当持参か、せめてお店で食べて空き容器をゴミにしないようにすべきなのに、言っていることとして逆ではないか、と思うからです。

環境派の人も①最初はそうしていたのですが、しんどくなり、長続きしないのです。お茶を沸かしたり、弁当を作るのは環境にもよいし、お金も節約できることはわかっているけれど、準備や後始末に時間がかかり、たいいてい女性の負担になります。女性には言いにくいし、自分がするのも大変と思うのでつい買ってしまい、罪ほろぼしにリサイクルで許してもらおうか、と買ってしまふのです。

ペットボトルは缶やびんにくらべ後発の容器で、ゴミ問題に関心が高まった一九八〇年代から普及しはじめたので、使い捨て容器の象徴しごうになり、国もリットル入りの容器に限るなど業界に自粛を求めました。しかし、九〇年代に入り外国から小さい容器の飲料などが輸入されるようになったので、国もリサイクルすることを条件に、許可せざるをえなくなり、大きささまざまな容器が普及するようになりました。それで、冒頭に述べたような矛盾した情景が普通になってきたのです。ペットはプラスチックの一種で、ポリのP、エチレンのE、テレフタレートむじゆんのTを並べた言葉で、ペット（愛玩動物）の犬と語呂があい、かわいいのでつけられました。

頭で考えると、環境を守るために一番よいことは、すぐゴミになるものを作らない・買わないこと、すなわちものの生産と消費を減らす ↑ REDUCE・リデュース) ことで、二番目が、酒やビールのびんのように同じ

容器を何度も使う REUSE サユース）、三番目に牛乳パックやペットボトルのように原料や材料として使われる RECYCLE ササイクル）となることは容易にわかるので、三Rが大切とか、優先順位は REDUSE > REUSE > RECYCLE とよく言われます。

それなのに現実に実行されるのは、ペットボトルを作らないリデュースでも、すこし厚めにして何度も使用できるようにするリユースでもなく、三位のリサイクルなので、環境問題に関心が深い市民や学者たちは、利益優先の企業や、それを許す行政、それらを買う市民の環境意識は低い、と怒りました。

私も、一〇年前に初版を著したころは、怒りはしなかったけれど、正しいことが伝わらないむなしさを感じていました。企業や行政の立場に立つと、多くの市民が望んでいるペットボトルを作らないと利益を上げられないし、営業の自由も大切だから、法律で禁止するわけにはいかないだろうと思っていたからです。

しかし、自分も、よい考え（↑思想）のリデュースよりも、劣った考えのリサイクルのほうが楽と思っている一人であることに気づいたとき、むなしさは消えました。

思想的観点からは、確かにリデュース√リユース√リサイクル√使い捨て、になるので、もっとも劣った思想の「使い捨て」を実行する人はこの一〇年で激減しました。しかし、ほかの三つも思うだけではダメですから、それを実行できる適した手段はあるのかという観点から、これらを評価する必要があります。すると、不平等号は不条理にも逆転し、実行しやすい順に並べると、使い捨て√リサイクル√リユース√リデュースになってしまふ、すなわち ②思想の優劣と手段の優劣は逆比例」するのです。

ペットボトルをリユースしようとするとう傷がつかないようにしていねいにあつかう必要があるし、買ったお店に返しに行く必要がありますが、家の前に出すだけでいいリサイクルでも協力する市民はこの一〇年でやっと半分になっただけですから、Aに協力できる人はもっと少なくなると思います。

リサイクル率が半分にまであがったのは、ペットボトルが牛乳パックと同様、容器包装リサイクル法の第一次指定品目になり、それまでのように焼却できなくなり、行政は収集と選別を担当し、業界側はそれを引き取りリサイクルしなければならなくなったからです。でも軽いのがあだになり、収集・選別費用が、リサイクルにかかる費用の二倍にもなり、行政がはじめに回収すると③豊作貧乏になる矛盾が大きくなっています。二リットル入りのペットボトル一本で収集・選別費が一〇円、リサイクル費が五円程度になります。

お茶を沸かしペットボトルに入れると、Bになるし、お金も節約できるのに、多くの人が実行せず、自販機で買うのは、時間ももったいないからです。思想が優れていればいるほど、それを形にする手段は多くなり、達成するのは困難になります。④高嶺の花ほど、つかみとるには膨大な時間がかかることになるので、優れた思想にしたがうよい手段をいつも選択するわけにはいかず、劣った思想による手段を実践せざるをえないのです。

逆に考えると、⑤時間的負担があまりない手段を見つけると、よい思想も実現できそうです。戦後から一九六〇年代ごろまでは、買い物に行くお母さんは、たいてい竹や蔓で作られたきれいな買い物かごやふろしきを持っていました。お店がサービスを強化するため、日常の買い物ではポリ袋をくれたり、贈り物やお土産を買うときには、お店や商品の名前入りの紙製の袋をくれるようになったので、⑥この習慣はすたれてしまい、現在の姿が普通になったのです。

しかし、よく考えてみると、あまり時間的負担は減っていないし、すぐに使い捨てられ、ゴミになっていきます。お店側から見ても、一枚数円もして経費がかかるので、昔のようにお客さんに持参してもらうと、支出も減らすことができます。時間的負担のあまりない、このCなら実行できるかもしれません。

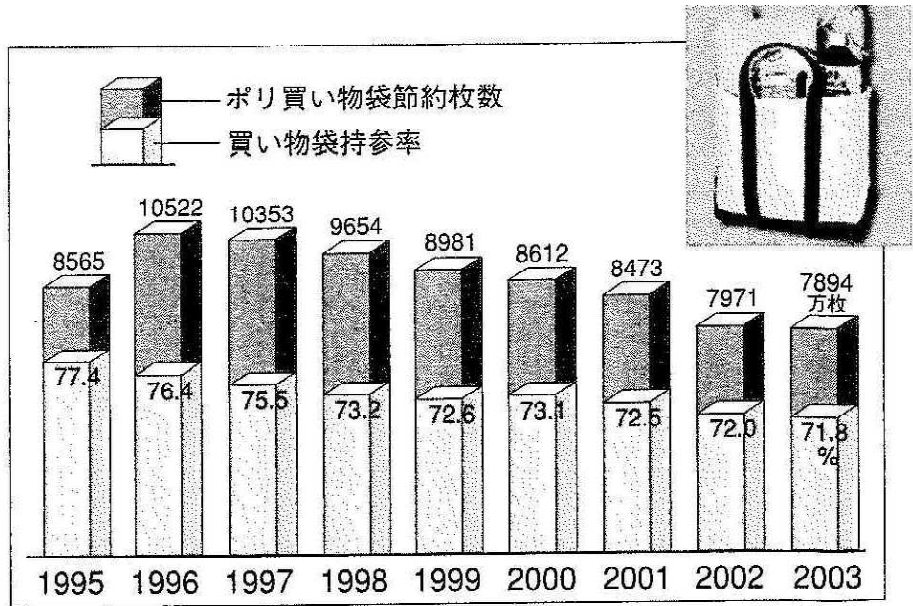
環境時代に入り、この先進的試みに挑戦して成功するお店が増えてきました。日本で一番大きい生協の 三

「プこうべ」は、袋を忘れると五円で買わなければならぬリデュース政策をいち早く導入して成功させました。会員制の生協は、事前に地域のお母さんたちと十分話し合い、「五円払うと損」と短絡する人を減らす努力をかさねることができているからです。それでも、逃げるお客さんがゼロになるわけではありませんから、営業部の人は「慎重にしてほしい」と、提案した環境部の人を牽制します。こんなときは、逃げるお客さんがどのくらいいるかをあらかじめ調査して、売り上げにそれほど影響しないことを示し、営業部の人に納得してもらう必要があります。

ここを乗り切ったとしても、スタートすると、必ずトラブルが発生します。事前に知らせていても、知らない人がいるのは避けられません。いつものように買い物に来て、はじめて五円払わなければならないことを知る人が少なからずいて、レジ係の人に怒ったり、電話で苦情を言うからです。そこで、お店や役所で、ちょっと厳しい環境政策を実行するときは、これら苦情を言う人に上手に対応できるようにあらかじめ学習することになっています。

藤前干潟にゴミが埋め立てられなくなった名古屋市は、大都市にはめずらしくきびしいごみの分別を市民や事業者に求めました。三か月間で市役所にかかってきた苦情や批判の電話は二万件もあつたそうです。職員は返事の仕方をよく学習し、誠実に説明したので、協力する市民が増え、一九九八年にはじまったごみ減量・リサイクル作戦はみごとに成功し、二〇〇三年には二五%も減りました。

しかし、持っていない習慣がついた消費者がメンドーと思つて怒るのでは？」と懸念する多くのお店は、「買物袋有料化政策を実行できず、袋を持っていくとスタンプを押してくれ、たまると割り引いてもらえる仕組みしか採用できません。この仕組みでは、協力する人は来店者の一割程度にしかならず、袋のリデュースはごくわずかになります。」



「コープこうべ」での買い物袋持参率とポリ買い物袋節約枚数の推移

コープこうべは、これら不満をいう人に誠実に対応した結果、初年度の一九九五年、来店者の約Ⅰ割の人が協力してくれ、試みは大成功でした。しかし、忘れる人も多く、なんと五円玉が約一億円も集まりました。このお金の一部を、以前から続けていた、地域で環境活動をする人たちに助成する事業に新たに加えることにしました。しかし、残念なことに協力する人は増えず、八年目の二〇〇二年度では、Ⅱ割強に減っています。袋を忘れても、もらえる店が多いと、持参する習慣を身につけるのは、⑦というは易し…というところがわかりません。私も家を出てから思い出すけれど、取りに帰るのはメンドーで、まあいいか、と思うことがよくあったので、今は薄いポリ袋をいつもカバンに入れておくことにしています。

森住明弘 環境とつきあう50話

出題の都合上、本文の一部を変えたり、省略したりしたところがあります。

問一——線部① 最初はそうしていた」とありますが、なぜ そうしていた」のですか。その理由を 「か
ら。」に続くように二十字以内で本文中からそのまま抜き出し、初めと終わりの五字を答えなさい。

問二——線部② 「思想の優劣ゆうれつと手段の優劣は逆比例」する」とありますが、この説明としてもっとも適当
なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 思想が優れていればいるほど、その思想を現実に行う手段は困難なものになるということ。
- イ 優れた思想は、その思想を現実に行う手段も同じように優れているものであるということ。
- ウ 優れた手段で現実に実行できる思想のほうが、現実には実行困難な思想より優れているということ。
- エ 優れた思想を実現するには、実行する手段が劣っている方が実現の可能性が低くなるということ。

問三 本文中の

A

C

 には、ア リユース イ リサイクル ウ リデュース
のいずれかの語が入ります。それぞれにあてはまる語を記号で答えなさい。
同じ記号を繰り返して用いてもかまいません。

問四——線部③ 豊作ぶんぱく貧乏びんぼうになる矛盾むじゆん」とありますが、これはリサイクルとそのためにかかる費用について
どのような状じようきよう況きようを述べていますか。三十字以内で説明しなさい。ただし 「リサイクル」と 「費用」の
二語を必ず用いることとします。

問五——線部④「高嶺の花」とありますが、ここでは何を「高嶺の花」にたとえていますか。本文中から五字以内で抜き出して答えなさい。

問六——線部⑤「時間的負担があまりない手段」とありますが、本文中に述べられている環境を守る手段の中で、どのような手段がこれに当たりますか。本文中から十字以内で抜き出して答えなさい。

問七——線部⑥「この習慣」とありますが、具体的にはどのような「習慣」を指していますか。それが述べられている一文を探し、初めの五字を抜き出して答えなさい。

問八 本文中のⅠ、Ⅱに適する数字を、グラフから読み取り、漢数字で答えなさい。

問九 本文中のグラフについて述べた文として正しいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 買い物袋の持参率が高くなればなるほど、ポリ買い物袋の節約枚数は増えている。
- イ 有料化を始めた九五年から今まで、買い物袋の持参率は年々高まってきている。
- ウ 買い物袋を持参する人が増えるとポリ買い物節約枚数は、ほぼ同じように増えている。
- エ 来店者の人数がわからないため、買い物袋を持参した人の増減は読み取れない。

問十 — 線部⑦ 「いはは易し、……」とありますが、省略されている 「……」の部分には 行うは難し。」

という語句が入ります。このことわざを通じて、筆者が伝えたいことはどのようなことですか。この文章全体の内容をふまえたうえで、四十字以内で答えなさい。

国語解答用紙

字数制限のある場合、句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。

6	1
	める
7	2
8	3
9	4
10	5
く	

一

二

問一

初め

終わり

から。

問二

問三
A

B

C

問四

問五

問六

問七

問八

I

II

問九

問十

評点



受験番号

氏名